

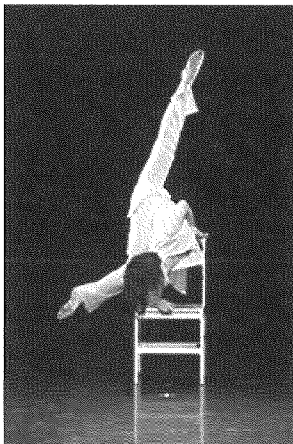
舞踊作品の制作及び発表報告

幅田 彩加

今年度制作し、外部公演で発表した4作品を以下に報告する。

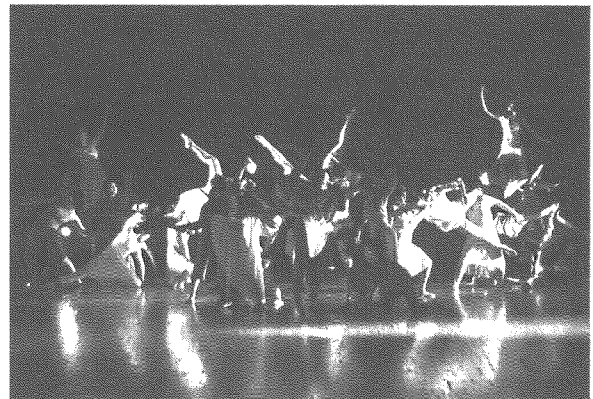
東京新聞主催「第44回現代舞踊展」にて作品「ガラクタ」振付・出演. 2017.7

作品解説は繰り返される破壊と再生. フランツ・リストの名曲ラ・カンパネラに異質な機械音を合わせた意欲的な音楽構成で挑んだ作品。



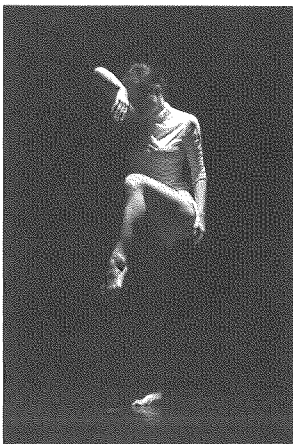
筑波大学ダンス部主催「Dance Express vol.12」にて作品「踊る彫刻」構成・演出. 2017.11.

平成国際大学の広場にある3体の彫刻と一緒に踊る即興企画から生まれた作品. 筑波大学ダンス部全部員に加え舞踊研究室生が出演し、肉体の可能性を求めて迫力あるパフォーマンスを見せてくれた。



「Goyang International Dance Festival 2017 (in 韓国)」にて作品「Birth」振付. 2017.8

未知なるものに出会い世界を広げて行く姿に着想を得た作品. イスラエルのダンスカンパニー所属の柿崎麻莉子に作品を体現してもらった. 私はスケジュールの関係上、本番を韓国に見に行くことが出来ず残念であったが、フェスティバルでは好評を得て取材を受けたとの報告をもらった。



「ダンスのようなもの… vol.2」にて作品「g」振付・出演. 2018.2

この作品は、動くエリア（空間）の制限を自分に課して制作を行った. 舞台中央のスポットの中だけで動きを展開させていった。

